| 科目名 | 高齢者看護学特講Ⅱ | 分野・必選別・単位数 | 専門科目（高齢者看護学） | 選択必修 | 2単位 |
|---|---|---|---|---|---|

| 担当教員 | ◎教授　上野公子 | | | | | 科目ナンバー | T2C126 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 課程 | 博士前期 | 配当年次 | 1年 | 配当学期 | 後期 | 授業方法 | 講義 |

| | |
|---|---|
| 授業の概要 | 我が国の高齢者に対する政策・制度の現状と課題を明らかにし、高齢者とその家族がより健康的で質の高い生活が送れるよう、サポートシステムや他職種連携について考える。また、高齢者特有の課題事例を取り上げ、高齢者とその家族を対象とする看護職が担う機能や役割について考える。 |
| 授業の到達目標 | 1. 高齢者の保健医療福祉制度・政策の変遷と現状について説明できる。<br>2. 多様な場で生活・療養する高齢者と家族を支えるケア内容やケアサポートシステムについて説明できる。<br>3. 高齢者特有の健康課題を抱えた高齢者や家族に対する看護の機能と役割について説明できる。 |

授業計画

| 回数 | 担当者 | 行動目標 |
|---|---|---|
| 1 | 上野　公子　教　授 | 講義の進め方について理解し説明できる |
| 2 | 上野　公子　教　授 | 高齢者の保健医療福祉制度・政策の変遷と現状について説明できる(1) |
| 3 | 上野　公子　教　授 | 高齢者の保健医療福祉制度・政策の変遷と現状について説明できる(2) |
| 4 | 上野　公子　教　授 | 高齢者の保健医療福祉制度・政策の変遷と現状について説明できる(3) |
| 5 | 上野　公子　教　授 | 医療施設における高齢者とその家族へのケアとサポートシステムについて説明できる(1) |
| 6 | 上野　公子　教　授 | 医療施設における高齢者とその家族へのケアとサポートシステムについて説明できる(2) |
| 7 | 上野　公子　教　授 | 高齢者施設における高齢者とその家族へのケアとサポートシステムについて説明できる(1) |
| 8 | 上野　公子　教　授 | 高齢者施設における高齢者とその家族へのケアとサポートシステムについて説明できる(2) |
| 9 | 上野　公子　教　授 | 在宅で生活する高齢者とその家族へのケアとサポートシステムについて説明できる(1)<br>―独居生活(1人暮らし)― |
| 10 | 上野　公子　教　授 | 在宅で生活する高齢者とその家族へのケアの実際についてまとめ、説明できる(2)<br>―夫婦二人または親子二人暮らし― |
| 11 | 上野　公子　教　授 | 在宅で生活する高齢者とその家族へのケアの実際についてまとめ、説明できる(3)<br>―2世帯または3世帯同居― |
| 12 | 上野　公子　教　授 | 事例検討を通して看護の機能と役割について討議できる(1) |
| 13 | 上野　公子　教　授 | 事例検討を通して看護の機能と役割について討議できる(2) |
| 14 | 上野　公子　教　授 | 事例検討を通して看護の機能と役割について討議できる(3) |
| 15 | 上野　公子　教　授 | 授業を振り返り、課題レポートを作成し提出できる |

| 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間 | | |
|---|---|---|
| | 【事前学修】 | 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。 |
| | 【事後学修】 | 授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。 |
| | 【必要時間】 | 当該期間に30時間以上の予復習が必要。 |

| | |
|---|---|
| 教科書 | 特に定めない。 |
| 参考書 | 特に定めない。講義の中で適宜紹介する。 |
| 成績評価の方法および基準 | 資料作成30%、プレゼンテーション及びディスカッション 30%、課題レポート40%として評価する。 |
| その他履修上の注意事項 | 担当教員と積極的にコンタクトをとり、授業への主体的な参加を希望する。<br>課題レポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。<br>カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。 |